

## モデル事業実績 見学報告書フォーマット

### 【訪問日】

R 元年 8 月

### 【訪問施設】

滋賀医科大学医学部附属病院

### 【見学内容概要】

集学的診療外来で 2 名の初診患者の診察の見学。

理学療法士による介入後評価のセッションの見学と概要の講義。

### 【見学に訪れて学んだことや感想など（200～400 字）】

今回、学際的痛み治療センターでの集学的治療を見学させていただき、当院との取り組みの違いなどを知ることができました。久郷先生の講義では、学際的痛み治療センターの概要を教えて頂き、患者様の最終評価も見学させて頂きました。見学させて頂き、印象的だったことは、他職種との連携が密であったことです。情報共有を行うことにより、患者様のゴール設定がよりの確に行えていると感じました。また、当院と大きく異なる点として、産業医が関わっている事が挙げられます。それにより、患者層も当院とは少し異なっているようでした。対象疾患が異なるので、評価や治療も変わってくると思いますが、今後の当院での取り組みの参考になりました。今回、忙しい中お時間を頂いた、福井先生、安達先生、久郷先生、スタッフの皆様に感謝いたします。

**【訪問日】**

R1年 8月

**【訪問施設】**

滋賀医科大学医学部附属病院

**【見学内容概要】**

集学的診療外来で2名の初診患者の診察の見学  
理学療法士による介入後評価の見学と概要の講義

**【見学に訪れて学んだことや感想など（200～400字）】**

見学させて頂き一番に感じたことは、慢性疼痛の集学的治療を行ううえで他職種との情報共有がいかに大切かということです。滋賀医科大学病院の先生方は情報共有を密にされており、実際に治療のスムーズさを感じました。具体的には、理学療法介入の前に、臨床心理士の先生が患者様とカテゴリー別（家事、家族との活動、人付き合い、レクリエーション・スポーツ、趣味、仕事、その他）の短期・長期の目標設定を細かく決め、その決めた目標にむけて、それぞれの職種が関わっていくという点です。患者様の目標や、日々変化がみられる紙面での様々な評価などを共有することにより、治療内容を介入の都度工夫することが出来るのではないかと思います。その他、疾患・疼痛別の評価を取り入れるなど、今後当院で取り組む際に参考にさせて頂きたいと思います。今回、忙しい中お時間を頂いた、福井先生、安達先生、久郷先生、スタッフの皆様に感謝いたします。